

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 8 年 5月 19 日 (火)
クラス名(年齢)	ひよこ組(0 歳児)

1、活動テーマ

<テーマ>

風を感じよう

<テーマの設定理由>

身近な風を感じて保育士との触れ合いを楽しんだり追視を楽しめるようにする。

2. 活動スケジュール

・スカーフや花紙に触れる。 ・風トンネルを使ってスカーフの動きを見る。 ・触れ合い遊びを通して風を感じる。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・スカーフ・花紙・風トンネル 他の玩具を片付けて転倒などがないようにする。

4、探究活動の実践

<活動内容>

・スカーフや花紙に触れる。 ・それを使って触れ合い遊びを楽しみながら風を感じる。 ・風トンネルを使って大風が吹くとスカーフがどうなるのかを追視して楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 花紙やスカーフを使って保育士が上下に動かしたり息を吹いたりして風によりスカーフや花紙が動く様子を見せると近付いて来て触ろうとする姿が見られた。「いないいないばあ」をすると喜ぶ。 	② スカーフを渡し保育士が「いないいないばあ」と言うと「ばあっ」のタイミングで持っていたスカーフを下に降ろしていないいないばあのやり取りを保育士と楽しんでいた。繰り返し楽しむ中で「ばあっ」の声が出るようになる。 
③ 風トンネルの中にスカーフを入れて「かぜさんきたよ」と話し、飛ばうとするスカーフを見せると始め何かなーっといった表情を見せる。飛ぶことがわかるとトンネルの外側を触ってスカーフを取ろうとする。 	④ 風が吹きスカーフが上へ飛んでいくことがわかると、目で追って楽しむ姿が見られる。「飛んだね」「すごいね」などの声をかけながら行うことで笑って目で追うことを繰り返し楽しんでいた。 

5、振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めて見るスカーフや花紙に触れることを楽しむことで次は何かと期待し楽しむ姿が見られた。風を感じることで、気持ち良さを感じているようだった。いないいないばあを楽しむ中で保育士との思いが通じ合う瞬間があり、笑顔が増える。保育士とのやり取りを楽しんだことで、自分でもいないいないばあを楽しめるようになった姿は嬉しかった。風トンネルが風によってスカーフが上へあがっていくことがわかると、目で追って繰り返し楽しむようになる。繰り返し行うことで面白さに気づくことができた。
--